

平成 29 年 12 月 22 日(金) 愛知県公立大学法人 愛知県立大学 担当 学務部学務課 成瀬 電話 0561-76-8823



愛知県立大学日本文化学部事業「愛知県史展と愛知文化遺産の探究」

公開講演会「文化財をめぐる天災と人災」

本学日本文化学部と愛知県・県史編さん室が、愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所の協力のもと、講師に久保智康氏をお招きし、災害を想定した文化財対策をも見すえた理想的な文化財認識の問題について、公開講演会を実施します。

ぜひ、ご取材ください。

愛知県域には、生活者住民が創造・継承してきた有形(古文書、彫刻・絵画・工芸、建築など)・無形 (祭りなどの民俗行事、ものづくりの技術など)の文化財に満ちています。しかも、今後の調査による 新発見や、今後の研究で大事な意味が見出されたりすることも多いはずです。

そんな先人による生活構築の証拠であり、将来の理想社会を築くための礎となる遺産である文化財を 天災・人災から保護するための対策も、現在すでに待ったなしの備えが求められています。

では現在また将来の世代にとっての文化財に対して、私たちは具体的にはどのように向き合うべきでしょうか。いま審議されている文化財保護法改定のことも気になります。鑑賞、研究、保存、参加、宣伝・・・・。公開講演会では、講師講演にコメンテーター発言を加え、問題を発見しつつ、活動の指針を考えたいと思います。

日 時 ◆ 2018年2月18日(日) 13時~16時(受付12時開始)

場 所 ◆ 愛知県立大学長久手キャンパス 特別講義棟(S棟)S201

参加方法 ◆ 申込不要・参加費無料

講 師 ◆ 久保 智康 (くぼともやす)

京都国立博物館名誉館員、叡山学院教授、愛知県文化財審議会委員専門は考古学・美術史学。『金色のかざり』『中世・近世の鏡』『飾金具』『東アジアをめぐる金属工芸』『日本の古代山寺』などの編著書がある。

コメンテーター

- ◆ 高梨 光正(愛知県立芸術大学美術学部芸術学専攻准教授)
- ◆ 大塚 英二 (愛知県立大学日本文化学部教授 愛知県文化財保護審議会委員)

公開講演会に関する問い合わせ先

学術情報部研究支援·地域連携課

〒480-1198 愛知県長久手市茨ケ廻間 1522-3

電 話 0561-76-8843

E-mail renkei@bur.aichi-pu.ac.jp





愛知県史展と愛知文化遺産の探究

公開講演会

「文化財をめぐる 天災と人災」



(東栄町 花祭り)

愛知県域には、

生活者住民が創造・継承してきた有形・無形の 文化財に満ちています。

今後さらに、調査による新発見や研究による新解釈も多い はずです。文化財は、先人による生活構築の証拠であり、 将来を築くための礎となる遺産です。

ところが今日、天災はいつ来ても不思議ではありません。 いま審議中の文化財保護法改定のことも気になります。 鑑賞、研究、保存、参加、宣伝・・・・・。

私たちは、文化財に対してどのように向き合うべきでしょ うか。公開講演会では、問題を発見しつつ、活動の指針を 考えたいと思います。



講師: 久保 智康氏

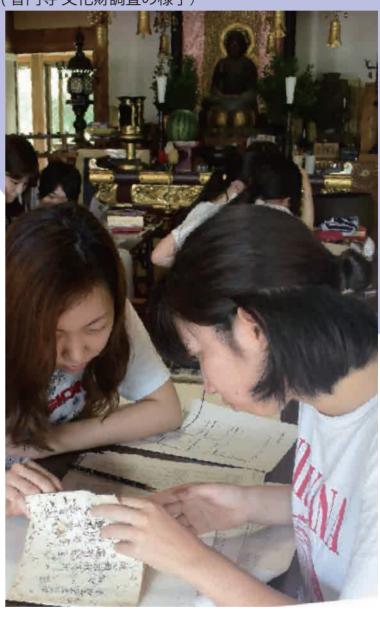
(京都国立博物館名誉館員 叡山学院教授・愛知県文化財保護審議会委員)

講師プロフィール:専門は考古学・美術史学

『金色のかざり』『中世・近世の鏡』『飾金具』『東アジアをめぐる金属工芸』 『日本の古代山寺』などの編著書がある。実物観察のプロフェッショナル、 金工研究の第一人者、学芸員業務の理想実践者、文化財行政への

正当見識者、仏教者たる普遍思想の発信者として、多面多臂でご活躍中です。

(普門寺文化財調査の様子)



コメンテーター:

高梨 光正氏 (愛知県立芸術大学美術学部芸術学専攻准教授)

大塚 英二氏(愛知県立大学日本文化学部教授 愛知県文化財保護審議会委員)

2018年 2月 18日(日) 13:00~16:00 (受付開始 12:00)

会 場 = 愛知県立大学 長久手キャンパス 特別講義棟 (s棟) S201

申込不要・入場無料

主催:愛知県立大学日本文化学部、愛知県総務部法務文書課県史編さん室

共催:愛知県立大学地域連携センター

協力:愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所



《交通アクセス》

●リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分《問合先》愛知県立大学研究支援・地域連携課 TEL:0561-76-8843 E-mail:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp ●リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分